

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2017.4.15 No. 290 連絡先 042-555-1911



## 5機の無人偵察機グローバルホーク 横田基地配備 5月1日から10月31日



無人偵察機グローバルホーク 5機を横田基地に一時展開と言っていますが、期間は半年間です。三沢基地には4機が一時展開されていましたが、5機に増えました。

今回の横田一時展開の理由は三沢基地の滑走路工事のためですが、工事は5月から7月です。どうして10月まで横田に展開するのか。

グローバルホーク RQ-4 は、地上のゴルフボールも確認できます。日本全土の詳細なデータが米軍に掌握されます。同機はイラクやアフガニスタンなどで運用されてきました。スノーデン氏は、電話やメールすべてが収集されていると告発しましたが、私たちは何重もの監視に曝されているようです。同機と似ている無人攻撃機リーパー MQ-9 は「死神」ともいわれる攻撃機。標的に必ず命中、子どもを含む民間人を巻き込んで殺傷し、国際的な非難を浴びています。

## トランプ政権のシリアへのミサイル攻撃(トマホーク59発) 危険な武力行使だ



トランプ大統領は、シリアのアサド政権が化学兵器を使って市民を殺したとして、突然、ミサイル攻撃しました。外交的努力を尽くさないで武力行使するやり方は、イラクに核がある、とイラク戦争を始めた事例を思い出します。北朝鮮に対しても武力行使を準備するトランプ政権。米本国は安全地帯にしてにおいて、日本を巻き込むことはなんとも思っていない。大惨事が起きないように力を尽くそう。

## F-35戦闘機 空対地爆弾搭載を検討している日本政府 戦争する気なのか

航空自衛隊に 42 機の配備が計画されている F-35 ステルス戦闘機について、敵基地攻撃に必要な兵器の搭載が検討されていることが、4月7日の衆院外務委員会で日本共産党の笠井亮議員の質問で明らかになりました。防衛省の内部文書「F35の搭載兵装について」には、GPS誘導爆弾「JDAM」2基などに加え、新たな空対地ミサイル「SDB1」8機など、合わせて最大でも6種類・8トン以上の兵器が「日本に導入開始時の搭載可能兵装」とされています。政府は「兵器の意味も変わってくる」と言いますが、憲法上許されないことです。

F-35の兵装搭載能力について(1/2)

- F-35はF-22等の他のステルス戦闘機と同様に、兵装類を搭載してもステルス性を損なわないようにするため、胴体中央下部にウェポンベイを有している。
- また、任務に応じてより多くの兵装を搭載するため、主翼下等にもウェポンステーションを有している。



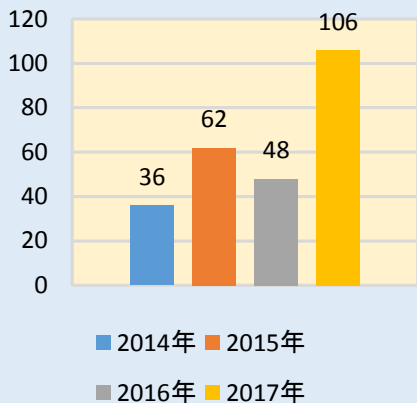
	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	計	
AIM-120C			1	1		1	1				4	
AIM-9X	1									1	2	
25mm Gun											181発	
JDAM(2,000-lb)			1				1				2	
SDB1			4				4				8	
Paveway II	1	1	1				1	1	1		6	
最大搭載重量(lbs.)	300	2500	5000	2500	350	1000	350	2500	5000	2500	300	18000以上

※ ④、⑤、⑦、⑧番の兵装ステーションは機内搭載用  
 ※ 日本に導入開始時の搭載可能兵装  
 ※ 赤字内取扱厳重注意

## MV-22オスプレイ 横田基地での離着陸は250回を超えた

(No. 290 裏面)

### オスプレイ離着陸回数



オスプレイは、これまで墜落などで41人が死亡しています。着陸時や離陸時に事故が多いので、危険な着陸・離陸を1回毎に数えて、横田基地では250回以上の離着陸がありました。

左のグラフにあるように、2014年は36回、2015年は62回、2016年は48回、2017年は3月末現在で106回です。

2017年は、3月5日から3月22日までオスプレイが横田基地に駐機し、陸自相馬原駐屯地(群馬)、陸自関山駐屯地(群馬)で日米合同演習をし、陸自東富士駐屯地(静岡)で離着陸訓練をただけでなく、横田基地周辺でも旋回飛行訓練や、タッチアンドゴー、ローパスなどの訓練をしました。横田基地周辺は演習場ではありません。住宅地上空の訓練に反対しよう！

## 横田周辺の住宅地上空で激しく飛行訓練する新型のC-130J-30輸送機



4月12日(水)、3月29日に横田基地に到着した新型輸送機C-130J-30 スーパーハーキュリーズの2号機が訓練を開始しました。(左上の写真)。前号でオペレーショングループ(作戦群)の隊長機と書きましたが、正確には第374作戦群(運用群とも訳される)司令官ロバート・ドットソン大佐の司令官指定機(374OG 15-5810)だそうです。1号機は第374空輸航空団司令官ケネス・モア大佐の司令官指定機(374AW 14-5807)です。



4月12日(水)は新型の2機のC-130J-30が、夜遅く(21時15分頃)まで急旋回、タッチアンドゴーなどの訓練をしていました(左下の写真:明るく補正しています)。夜は在来機に比べ青いマークが目立つようです。(写真: yokotajoho のブログ)

## 4月12日と13日 人員降下訓練 延べ18人程度との情報あり 確認は6人

人員降下訓練の情報があり、延べ18人程度ということでしたが、確認できたのは13日の夜だけ。19時24分に1人、19時38分に1人、19時50分に1人が人員降下し、C-130輸送機は高度を上げながら大きく旋回して20時12分に高度3000m位から3人が降下したそうです。

## 横田基地 夜間ホイスト訓練 吊り上げ・吊り下げ装置(ホイスト)を使った訓練

4月4日(火)、横田基地では第459空輸中隊が夜間、ホイスト訓練を行ったと、米軍横田基地HPに載っていました。(左の写真:UH-1Nヘリコプターに吊り上げられる第36空輸中隊のパイロット。高さは約8~11m。)



写真は相当明るく補正しています。夜間ホイスト訓練なので、第459空輸中隊特殊任務官の空兵は暗視ゴーグルを使い窓の外を見えています。これも訓練です。夜の訓練が多い。